【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年6月7日(2007.6.7)

【公表番号】特表2007-502668(P2007-502668A)
【公表日】平成19年2月15日(2007.2.15)
【年通号数】公開・登録公報2007-006
【出願番号】特願2006-524016(P2006-524016)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｃ　13/20　(2006.01)
Ａ６１Ｃ　13/34　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｃ　13/20　Ｂ
Ａ６１Ｃ　13/34　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月11日(2007.4.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の形状と、第２の形状に成形されるのに十分な展性とを有する自立形構造の形態の有機組成物を含む歯科用物品型であって、１つ以上の硬化性歯科用材料で充填でき、前記歯科用材料が少なくとも部分的に硬化して歯科用物品を形成した後に取り除かれる、歯科用物品型。
【請求項２】
前記有機組成物が界面活性剤システムをさらに含む、請求項１に記載の歯科用物品型。
【請求項３】
第１の形状と、第２の形状に成形されるのに十分な展性とを有する自立形構造の形態の非硬化性有機組成物を含む歯科用物品型であって、１つ以上の硬化性歯科用材料で充填されるのに適する、歯科用物品型。
【請求項４】
前記非硬化性有機組成物が、ポリカプロラクトン、ポリ酢酸ビニル、エチレン－酢酸ビニル共重合体、ポリエチレングリコール、ワックス、およびそれらの混合物よりなる群から選択される非硬化性ポリマーを含む、請求項３に記載の歯科用物品型。
【請求項５】
前記有機組成物が充填剤システムを含む、請求項１～４のいずれか一項に記載の歯科用物品型。
【請求項６】
第１の形状と、第２の形状に成形されるのに十分な展性とを有する自立形構造の形態の添加充填剤のない有機組成物を含む歯科用物品型であって、１つ以上の硬化性歯科用材料で充填されるのに適する、歯科用物品型。
【請求項７】
容器を有する歯科用物品型を選択することと、
容器を１つ以上の硬化性歯科用材料で充填することと、
１つ以上の硬化性歯科用材料で充填される前記歯科用物品型を対象の歯構造の上に配置させることと、

前記硬化性材料を少なくとも部分的に硬化して歯科用物品を形成することと、
前記歯科用物品を対象の口の外で任意にカスタマイズすることと、
前記歯科用物品を前記対象の歯構造にセメント接着することと、
前記歯科用物品型を任意に取り除くことと、
を含み、
前記容器を前記硬化性歯科用材料で充填する前または後に、前記歯科用物品型が対象の口の中にあるうちに再整形される、歯科用物品を調製する方法。